

第13回

# 安川加壽子記念会 回顧展と座談会

— 貴重な資料とお話して巡る安川加壽子の功績と思い出 —

日本で最初の本格的なピアニストとして  
また音楽教育や室内楽の分野でも  
大きな功績を残された安川加壽子先生が逝かれて21年

先生に薫陶を受けたピアニストたちが集い  
先生を記念します。

資料提供 ■ 松野健史 / 昭和音楽大学

## 座談会

10月20日(金) 18:30~19:30



平尾はるな  
Haruna Hirao



大木裕子  
Hiroko Ohki



青柳いづみこ(聞き手)  
Izumiko Aoyagi

10月21日(土) 18:30~19:30



金澤希伊子  
Keiko Kanazawa



井上二葉  
Futaba Inoue



多美智子(聞き手)  
Michiko Ohno



写真:大竹省二

## KAZUKO YASUKAWA

2017年

# 10月20日(金)・21日(土)

回顧展 11:00~20:00

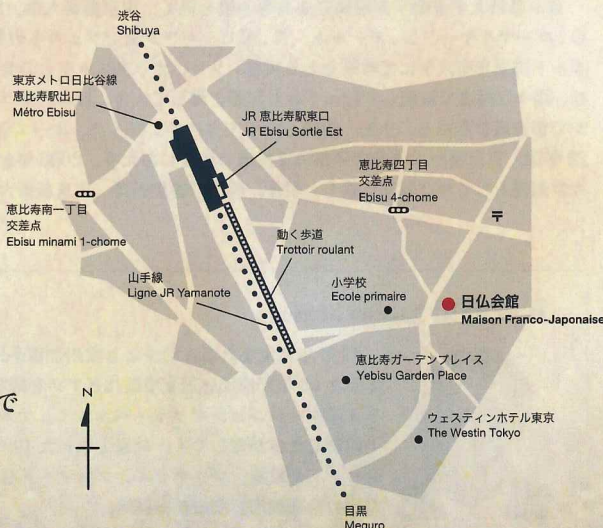
## 日仏会館 2Fギャラリー

「恵比寿駅」東口から「動く歩道」経由で徒歩10分

**入場無料** 年齢制限はございませんが図書室に音が漏れますので  
展示時間内はお静かにお願いいたします

主催 ■ 日仏音楽協会 / 安川加壽子記念会 共催 ■ 公益財団法人日仏会館

後援 ■ 公益社団法人日本演奏連盟 / 公益財団法人日本ピアノ教育連盟





## 10月20日(金)

### 平尾はるな Haruna Hirao

7歳より安川加壽子女士に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学入学。1961年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院入学。64年同音楽院をブルミエ・プリを得て卒業。66年デビューリサイタル以降、日本のピアノ作品の普及につとめ多数の作品を委嘱。76年日本人作品による演奏会で、昭和51年度文化庁芸術祭優秀賞。86年フランスと韓国の招請を受け演奏会に出演。81～92年JMLセミナー入野義朗音楽研究所・現代ピアノ音楽演奏法講座の講師をつとめ、多くの現代音楽スペシャリストを育成。2005年4月オーストリア・ウィーンにてリサイタルを開催。07年父、平尾貴四男の生誕百年記念演奏会を開催。このころから、スポーツトレーニングの概念を取り入れたまったく新しいピアノ練習法の研究と普及活動に取り組み、雑誌などで話題となった。09年その内容をまとめたDVD付書籍がヤマハミュージックメディアよりリリースされる。12年5月にフランスの放送局の招きで室内演奏会に出演。13年平尾貴四男没後60年記念演奏会、15年5月オールモーツァルトプログラムによるリサイタル、16年10月にはデビュー50周年記念ベゼンドルフアーコンサートを開催。平尾はるなピアノアカデミー主宰。平尾貴四男記念生涯教育センター代表。

### 大木裕子 Hiroko Ohki

安川加壽子、宅孝二、ルイ・ヒルトブラン、セイモア・バーンスタインの各氏に師事。1963年東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て同大学ピアノ科卒業。65年スイスジュネーブ音楽院演奏家クラスを一等賞で卒業。10月ヴィオッティ国際ピアノ・コンクール銀賞。67年日比谷公会堂にて日本デビューリサイタル。以後現在までに26回の自主リサイタルを開催。NHK-FM、T.V等に出演のほか読売交響楽団、日本フィル、他日本のオーケストラと協演。ロランド・フェニヴェッシュ(vl.)とデュオ共演。81～91年ニューヨーク在住。83年にニューヨークデビューリサイタル以降、ニューヨークにて自主リサイタル4回、アメリカ国内でオーケストラと協演など演奏活動を行う。83年、87年イタリアシエナ大学夏期講座で演奏及びマスタークラスを行う。91年帰国。以来、東京を拠点に海外のアンサンブルとの協演や、ニューヨークでのオーケストラと協演のほか、国内各地で演奏活動を続けている。CDは2009年にチェリストのサンドラ・ベリッチとの共演、13年ベートーヴェンとシューマンによるソロCDをリリース。また、セイモア・バーンスタイン著書の翻訳のほか、姉山根美代子の著作を出版。

### 青柳いづみこ Izumiko Aoyagi

安川加壽子、ピエール・バルビゼの各氏に師事。フランス国立マルセイユ音楽院首席卒業。東京藝術大学大学院博士課程修了。平成2年度文化庁芸術祭賞受賞。執筆と演奏を兼ねる希有な存在として注目を集め、師安川加壽子の評伝『翼のはえた指』で吉田秀和賞、祖父の評伝『青柳瑞穂の生涯』で日本エッセイストクラブ賞、『6本指のゴルトベルク』で講談社エッセイ賞、CD『ロマンティック・ドビュッシー』でミュージックペンクラブ賞を受賞。近著に『水の音楽 オンディースとメリザンド』(平凡社ライブラリー)、『ショパン・コンクール 最高峰の舞台を読み解く』(中公新書)、『ピアニストたちの祝祭』(中公文庫)など。現在、2018年のドビュッシー没後100年に向けてカウントダウン・コンサートを開催中。ラ・フォルジュレネ音楽祭、テレビ朝日『題名のない音楽会』等にも出演。大阪音楽大学教授、神戸女学院大学講師。日本ショパン協会理事、日本演奏連盟会員。

<http://ondine-i.net> 公式FB<https://www.facebook.com/aoyagi.izumiko>

## 10月21日(土)

### 金澤希伊子 Keiko Kanazawa

東京音楽学校(現東京藝術大学)ピアノ科を経て同校研究科(現大学院)首席修了。NHK交響楽団とストラヴィンスキーの詩篇交響曲を演奏。後渡仏しラザール・レヴィ教授に師事。1955年第1回リサイタルを開催。ヴァイオリニスト諏訪根自子氏の演奏旅行に同行し数多くの伴奏を受持つ。また東京交響楽団、東響、東フィル、読響、東京藝大管弦楽団等、多くのオーケストラと協演するほかイン弦楽四重奏団と10年間にわたり活動。再渡仏しベルルミュテール教授に師事。パリ、ブラハ(チェコ)で数多く演奏し松村鎮三氏の作品を紹介する。2005年ブラハ・サマーアカデミー教授として招聘。CD「ラヴェルピアノソロ作品全集」をリリース。「音楽現代」、「レコード芸術」誌にて推薦盤としてとり上げられる。小津恒子、井口基成、安川加壽子の各氏に師事。池内友次郎氏に理論を学ぶ。日本音楽コンクール、安川加壽子記念コンクール等多くのコンクールで審査委員を務めたほかバッハやラヴェル作品の選指演奏法の他、各種エッセイの執筆多数。現在、桐朋学園大学名誉教授、日本ピアノ教育連盟名誉顧問、日本演奏連盟、日仏音楽協会、日本フォーレ協会各会員。

### 井上二葉 Futaba Inoue

オーストラリアに生まれ、幼少期をヨーロッパで過ごす。4歳でピアノを始め、ベルリン、ブダペストで音楽を学ぶ。戦争のため帰国し、遠山つや、黒澤愛子、豊増昇、東京音楽学校(現東京藝術大学)入学後は安川加壽子の各氏に師事。1951年本科ピアノ科卒業、53年研究科修了。同年4月東京でデビュー・リサイタルを開催。57年より渡仏し、パリで約1年間ラザール・レヴィ氏に師事。67年にはJ.M.F.(フランス青少年音楽協会)と民音の交換芸術家第1号としてフランスに派遣され、23都市でリサイタルを行った。その後パリでヴラド・ベルルミュテール氏に師事。74年ガブリエル・フォーレ没後50年を記念して全ピアノ曲を4回にわたる連続演奏会で演奏、その成果に対して第5回福山賞を受賞。フランス近代の作品を主なレパートリーとし、これまで東京に於て36回の自主公演を開催。独奏のほか室内楽、伴奏の分野も数多く手掛け、古沢淑子、ジャック・ジャンセン、ジャン＝ピエール・ランバル、ジャック・ランソロ、カミーユ・モラース、レーヌ・フラショ、マイクロシュ・ペレニなど世界的名手と共演している。エリザベト音楽大学名誉教授、日本演奏連盟会員、日仏音楽協会会員、日本フォーレ協会顧問。

### 多美智子 Michiko Ohno

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学、同大学院修了。シュトゥットガルト国立音楽大学演奏家コース修了。安川加壽子、金澤希伊子、G.ローマイヤー、L.ギルト、E.ピヒト＝アクセンフェルトの各氏に師事。第35回日本音楽コンクール第1位。1972年渡独、1983～89年までシュトゥットガルト国立音楽大学にて教鞭をとる傍ら、ソロ、オーケストラとの共演、室内楽の分野において幅広く演奏活動を行う。1989年帰国後より始めた《室内楽シリーズ》は、様々な編成で継続して行っており好評を博している。日本音楽コンクール、全日本学生音楽コンクール、日本ピアノ教育連盟オーディション他、多くのコンクールで審査員を務める。また、講師としてイタリア、ドイツ、オーストリア、ポーランド、韓国等の講習会に招かれるほか、各地で公開講座等を行う。2011年までの22年間、東京藝術大学音楽学部にて後進の指導にあたり、2006年からは同附属音楽高等学校長を兼任。定年退職後、東京藝術大学名誉教授。2013年より昭和音楽大学教授として再び教職に就く。現在、同大学客員教授、東京藝術大学ジュニア・アカデミー講師。日本ピアノ教育連盟理事、日本演奏連盟会員。

## 資料提供

### 松野健史 Takeshi Matsuno



1966年に生まれる。幼少より安川加壽子氏のレコードを最も好み、その後首都圏を中心に数多くの公演を追いかけ、鑑賞した。1983年より96年安川氏急逝まで氏にピアノを師事。その間桐朋学園大学音楽学部卒業。室内楽、公開レッスンでは安川氏の他、アンリエット・ビュイグ＝ロジェ、ヴラド・ベルルミュテール、三善晃等各氏に指導を受ける。リサイタル、室内楽等で演奏を行い、安川氏生前に会場予約をした日が奇しくも一周忌となった1997年7月12日、安川氏追悼リサイタルを行う。また、現在まで安川氏の動画、録音、CD、レコード、雑誌、プログラム、プロマイドなど歴史的資料を蒐集、保存している。日本ピアノ教育連盟評議員。桐朋学園大附属「子供のための音楽教室」太田教室講師。